



犬の気管虚脱

「ガーガー」という咳。気管の病気を知り、上手に付き合しましょう。

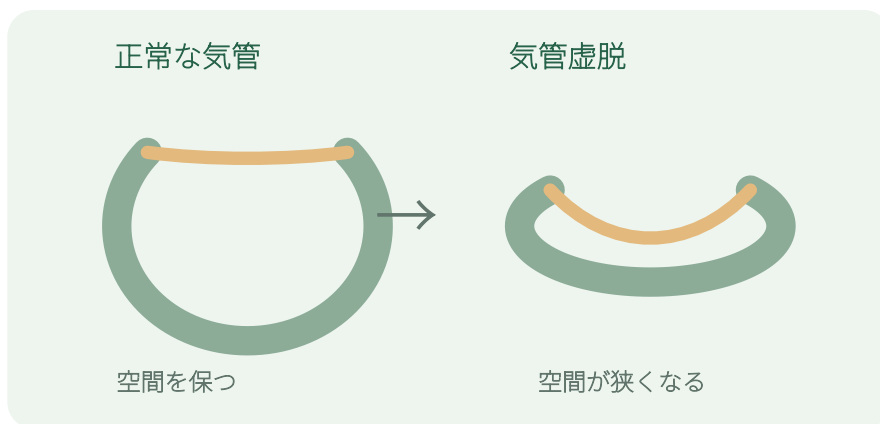
患者名：_____ちゃん

年齢：_____歳 _____か月

01 気管は「空気の通り道」です

気管を支える軟骨が弱くなり、管がつぶれて空気の通り道が狭くなる病気です。

小型犬・中高齢のワンちゃんに多く、若い子にもみられます。



図は気管の断面を簡略化した模式図です。上側が背中側。



首輪よりハーネス

02 こんな症状はありませんか？

- ☐ 「ガーガー」という乾いた咳
- ☐ 興奮・首への圧迫で咳が出る
- ☐ 飲水や食事の後に咳き込む
- ☐ 暑い日や運動で悪化する

咳の動画・回数・出やすい場面を記録すると、診察の助けになります。

03 おうちでできる4つのケア

- ① 適正体重を保つ。食事量や目標体重は獣医師と相談しましょう。
- ② 散歩はハーネスで。首を圧迫せず、無理のない運動を。
- ③ 暑さ・興奮を避け、涼しく落ち着ける環境を整えましょう。
- ④ 煙・香水・ホコリなど、気道を刺激するものを避けましょう。

息苦しそう・舌が青紫色・倒れる → すぐに受診

涼しい場所で安静にして病院へ連絡。無理に飲食させないでください。

診療時間外は、対応可能な救急動物病院へご連絡ください。



診断と治療計画

症状を和らげ、快適な生活を保つために。一緒に管理を続けましょう。

患者名：_____ちゃん

診察日：_____年____月____日

04 検査で、気管と心臓を確認します

☐ 1 診察・聴診

咳の経過、呼吸状態、心雑音などを確認します。

費用 _____ 円

☐ 2 レントゲン検査

気管の形と、肺・心臓の状態を確認します。

費用 _____ 円

☐ 3 必要に応じた追加検査

心エコー・血液検査・透視・気管支鏡など。

費用 _____ 円

気管の形は呼吸で変わり、レントゲンだけでは捉えにくい場合があります。

心臓病など、ほかの咳の原因や併発疾患も含めて判断します。

05 症状に合わせて治療を選びます

内科治療 | 生活管理 + 症状に合わせたお薬

鎮咳薬・抗炎症薬などを使用し、必要に応じて気管支拡張薬等を検討します。

多くの子で症状の改善が期待できますが、継続的な管理と再診が大切です。

お薬を自己判断で増減・中止したり、人用の咳止めを与えたりしないでください。

外科治療 | 内科管理が難しい場合は専門施設へ

必要に応じてアトム動物病院・動物呼吸器病センター（米澤 寛先生）へ紹介し、PLLP手術などの適応を相談します。手術の可否は病変の範囲や全身状態で判断します。

本日のお薬・費用

薬剤名	飲み方・日数	費用（税込）
		_____ 円
		_____ 円

次回診察：_____月____日 目標体重：_____kg 担当：_____

方針・メモ：_____

参考：ACVS／Cornell 獣医学部（Tracheal collapse）・アトム動物病院